

令和2年度 大東市教育委員会 7月 定例会 会議録

1. 開催年月日

令和2年7月30日（木） 午前9時30分～午前11時50分

2. 開催場所

大東市教育委員会会議室

3. 出席者（4名）

- | | |
|-----------|--------|
| ・教育長 | 水野 達朗 |
| ・教育長職務代理人 | 太田 忠雄 |
| ・教育委員 | 田中 佐知子 |
| ・教育委員 | 齊藤 めぐみ |

4. 出席説明員（16名）

- | | |
|-----------------------------|--------|
| ・学校教育部長 | 北田 吉彦 |
| ・学校教育部指導監 | 伊東 敬太 |
| ・生涯学習部長兼総括次長 | 馬場 弘行 |
| ・学校教育部総括次長兼教育政策室長兼課長 | 佐々木 由美 |
| ・学校教育部次長兼学校管理課長 | 清水 鉄也 |
| ・福祉・子ども部子ども室課長 | 栗田 英治 |
| ・福祉・子ども部子ども室課長 | 大角 樹 |
| ・学校教育部教育政策室課長 | 杉谷 明子 |
| ・学校教育部教育政策室課長 | 新井 雅也 |
| ・学校教育部教育政策室課長兼教育研究所長 | 奥村 彰悟 |
| ・学校教育部教育政策室課長兼野崎青少年教育センター所長 | 前島 康浩 |
| ・学校教育部教育政策室課長兼北条青少年教育センター所長 | 北村 孝史 |
| ・生涯学習部生涯学習課長 | 平岡 健一郎 |
| ・生涯学習部生涯学習課参事 | 黒田 淳 |
| ・生涯学習部スポーツ振興課長 | 中村 正則 |
| ・学校教育部教育政策室課長補佐 | 岡田 健嗣 |

5. 傍聴者 12名

6. 議事日程

- | | |
|---------|---|
| 日 程 第 1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日 程 第 2 | 教委議案第 2 7 号
大東市教育大綱にかかる実施計画の策定について |
| 日 程 第 3 | 教委議案第 2 8 号
令和 3 年度使用大東市立中学校教科用図書の採択について |
| 日 程 第 4 | 一般業務報告 |

大東市教育大綱

令和2年度版

実 施 計 画

大東市教育大綱 令和2年度版 実施計画

大東市教育大綱の実現を図るため、具体的施策となる「実施計画」を次のように定め、計画的な事業実施を行う。

重点1 学力の向上

項目	現状・課題	主な取組・方向性
① 学力向上の強化と学習習慣の定着	○ 授業力向上学校支援チームによる、学校訪問指導・「大東教員スキルアップ講座」の開催等、学力向上担当者の育成及び各校への具体的な学校支援を実施してきた。今後は、学校が「出張スキルアップ講座」も含め、一層計画的・主体的にチームを活用し、各校での確実な実践・検証・改善が必要。 ○ 学力向上に向けて個々の児童生徒の課題に正対した取組を推進するため、学校活性化計画の「付けたい力」を基に各校が児童生徒の学力を把握するとともに、日々の授業改善において「だいたい教育ビジョン2019」を確実に活用する等、年間を通じた組織的かつ計画的な取組が必要。 ○ 各学年で定着すべき学習内容の確実な習得と定着が大切であり、さらに一人ひとりの習得度・定着度を高めていくことが課題。	➤ 学校・教職員が授業力向上を柱に、主体的に学力向上に向けた取組みを計画し、授業力向上学校支援チームによる訪問指導等により、「だいたい教育ビジョン2019」に基づいた「型から質へ」の授業改善を行う。また、「大東教員スキルアップ講座」においても授業力向上を柱に、「出張スキルアップ講座」も活用し、学力向上担当者を軸に、あらゆる経験層の教員に対して、より実践的な支援を行う。 ➤ 各校では、「付けたい力を見取る」テストを通して「学校活性化計画」における「付けたい力」における達成状況を把握する。また、日々の授業改善で「付けたい力」を意識した授業改善を行うべく、「だいたい教育ビジョン2019」の活用を促す。 ➤ 「ことばのちから」等、大阪府提供の教材の活用による反復学習等を実施することで、基礎的・基本的な内容について、児童生徒個々に確実な習得を図る。
② 魅力あふれる教職員による授業改善・授業づくり	○ 学力向上の根幹は、児童生徒にとって分かりやすい授業づくりであり、学びを深め、できたと実感できるような授業を、魅力あふれる教員が実践していくことが重要であるとともに、「主体的・対話的で深い学び」を各教科で追究していくことが必要。 ○ 「だいたい教育ビジョン2019」2年次にあたり、全ての教員が、より一層、「大東クオリティ」及び「具体的なチェックリスト」等に基づく教員の確かな関わりによる「学び合う」授業づくりを行うことが必要。	➤ 児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教員の一層確かな関わりによる「学び合う」授業づくりが必要であり、「だいたい教育ビジョン2019」に係るアンケート等による検証を実施し、より一層の活用を促す。 ➤ 学力について、基礎的学力・応用的学力の両面が同時に伸びるよう、丁寧な教材研究を行い、「大東クオリティ」及び「具体的なチェックリスト」等に基づく授業改善を行う。

		➤ 教職員が「大東教員スキルアップ講座」等の研修や実践を通じて教育のプロ集団としての自覚を深め、スキルを磨き豊かな人間性と社会性を併せ持ち、教職員自らも主体的に教育活動を実践することにより、一人ひとりの児童・生徒が自分の個性と能力を十分に発揮できる授業を実施する。
③ 家庭の教育力の向上と子どもの生活習慣の改善	○ 従前から「全国学力・学習状況調査」の結果からも生活習慣と学力との相関性が明らかになっているところ。 ○ 本調査では、携帯電話やスマートフォンの長時間使用や、改善傾向にあるものの家庭学習習慣の定着は未だ課題であり、これらの取組みについて具体的に発信することが必要。 ○ 子どもたちの規則正しい生活習慣と学習習慣の定着を図るためには、すべての教育の出発点である家庭の教育力を高めることが重要。 ○ 保護者が安心して子育ておよび教育を行うための支援強化を図るため、家庭教育支援チーム活動のより一層の推進が必要。 ○ 学校・家庭・地域の教育の担い分けの促進に向けた取組みの検討が必要。	➤ 学校休業日の学習機会の拡充のため、「学力向上ゼミ」を継続実施する。また、放課後等の自学自習力の育成を図るため、「大東・まなび舎」を全中学校で継続して展開する。 ➤ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「家庭教育支援チーム」による小学1年生全家庭訪問を中止し、配布物を家庭に投函する。保護者が気軽に集うことができる「いくカフェ」は、インターネットやパソコン通信上で行う「オンラインいくカフェ」を開催する。コロナ禍であっても新たに手法を用いて「大東モデル」の家庭教育支援の充実を図る。 ➤ 学校で取り組むべき内容と家庭で力を入れてもらうべき内容を明確にし、相互の取組みの連携を密にし、児童・生徒の健やかな成長に相乗的な効果が期待できる取組を推進する。併せて、親学習の推進に向けた取組みを進める。 ➤ 家庭教育支援の取組や家庭教育に関する情報を積極的かつ具体的に発信することに努め、家庭教育の重要性の浸透を図る。 ➤ 学校・家庭・地域の教育の担い分けの促進にかかる指標づくりに向けた取組を進める。
④ 体力・運動能力の向上	○ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」へ参加し、課題に対して取組みを推進している。実施に向けて、正しい調査方法での実施を全校で徹底する必要がある。	➤ 前年度の取組みを踏まえ「体力づくり推進計画(アクションプラン)」を見直し、学校ごと目標を明確化する。 ➤ 調査において、児童・生徒の能力をいかに発揮させるため、複数年での取組みや市体育研究会とも連携し、正しい調査方法を広く共有し、徹底する。

⑤ がんばりが評価される学校環境づくり	○「大東学び合いネット」を活用した学校ホームページは、全校で毎日更新・発信されている。 ○「だいとう教育ビジョン2019」2年目となる。ビジョンを一層意識した授業づくり・学習環境づくりが必要	➤ 数年かけて確立した本市各校のホームページにより、引き続きタイムリーな発信を行う。 ➤ あらゆる研修において、絶えず「だいとう教育ビジョン2019」の項目を意識し、各教員が自身の授業実践を絶えず振り返り、一層の高め合える環境改善を行う。
⑥ 小学校からの英語教育の推進と中学校英語教育の充実	○ 新学習指導要領全面実施により、小学校3・4年では外国語活動、小学5・6年では外国語科となり、小学校段階から英語に触れることになる。 ○ 中学校3年段階で英検3級程度の英語力を身に付けている生徒の育成を図ることが必要。(総合戦略:英検3級以上取得率目標20%)	➤ 全小学校全学年で「DREAM」を活用する。併せて小学3年～中学3年までの7年間を見通した「CAN-DOリスト」を作成・活用する。活用の好事例については、年間通じて収集に努め、市全体として発信する。 ➤ 英語力向上の指標となり、英語学習のモチベーションともなる英検取得率等の向上を図るため、大東市版英検(Daito English Trial「Hop検定」「Step検定」「Jump検定」)を実施し、3級・準2級・2級検定料補助を行う。
⑦ フォーラムの開催等による教育研究の充実	○ 新型コロナウイルス感染症に係る対応のため、一堂に会しての交流の場としては実施困難であるが、次年度に向けて、市の全教職員が一つのテーマで教育の課題について考えていくことは必要。	➤ 子どもたちの頑張りが継続し、賞賛され、自主的な学びにつながっていくような取組や啓発が大切であるため、今年度については一堂に会しての共有の場を設けることはできないが、各校区、学校園での取組を実施しつつ、次年度に向けて、様々な分野で教育研究を推進するなど、すべての学力段階の子どもの学力を確実に伸ばし、学習意欲の向上につながる授業づくり、子どものやる気につながる取組を一層推進する。

重点2 安心・安全な教育環境の推進

項目	現状・課題	主な取組・方向性
① いじめ・不登校の未然防止、早期かつ適切な対応	○ 文部科学省が示すいじめの定義を正しくとらえることにより、小・中学校とも件数は増加傾向にある。このことが未然防止・早期の対応につながっている。 ○ 未然防止の観点としてスクールロイヤー等専門家の積極的な活用が必要。 ○ 体罰は、子どもたちの人権の尊重という観点からも絶対に許されない行為であるという認識全教職員が持ち続けるために、継続して研修等の取組みを進めていく。	➤ あらゆる機会を使って、いじめの定義・捉え方を全教職員が確認する。教職員は絶えずアンテナを高く広くもち、児童・生徒が相談しやすい信頼関係づくりに努める。対応には、必ず複数で行い組織として対応する。 ➤ 不登校対策事業のほか、学校支援事業での警察OBによる定期的な学校訪問、いじめ他、非行防止教室を開催し未然防止を行う。 ➤ 府のスクールロイヤー等を積極的に活用し、躊躇することなく早期段階から組織的に対応する。その際、保護者も含めた支援が必要なケース等、教職員の対応力を高める。 ➤ 体罰は絶対に許されないという認識を教職員が持ち続けることが、体罰の根絶において必要となる。したがって、今後も継続して研修等を実施し、体罰に至らない指導の在り方について徹底する。
② セーフティネット機関の充実	○ 不登校のあり方に関する通知を受け、ボイス運営について革新を行う。その際、人的体制を整え民間のノウハウを導入し、広く不登校児童生徒が通うことができようにする必要がある。 ○ 縮小した教育相談室であるが、引き続き教育に関する専門的見地から保護者が相談できるセーフティネットとしての役割を果たす。併せて、児童生徒の相談に対応する教職員の相談技能の向上の必要である。	➤ セーフティネット機関としてのボイスについては、なお一層の周知はもとより、コンセプトを明確にすることで、広く通うことができる機関とする。 ➤ 児童生徒理解のための研修、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等も交えたケース会議の充実、スクリーニングシートの活用を推進する。 ➤ 近年は、保護者を含めた家庭全体への支援が必要なケースも増加しているため、家庭教育支援チームや「ネウボランドだいとう」へのSSW常駐配置により、福祉機関等との連携を促進し、切れ目のない支援の充実を図る。
③ 児童・生徒指導の推進	○ 児童生徒の問題行動減少に向け、日々の授業等における集団づくり、学校生活全般を通じて仲間づくりを行っている。近年はネットトラブルも増加傾向にある。今後は「成長を促す指導」を行うとともにスクールロイヤーの積極的活用を行う必要がある。	➤ いじめ対応担当教職員連絡会、全校で情報モラル学習教室の開催、学校あんしん生活アンケートの実施により、諸問題への未然防止・早期発見に取り組む。 ➤ 学校生活を通じて、子どもと子ども、子どもと教職員の関係を一層深め、相互の信頼関係を高め、関係性を強める。子ども一人ひとりが相談しやすい学校環境づくりを行う。

④ 中学校区単位での 道徳教育の推進	○授業や評価の質の向上のため、引き続き校区を単位とした授業研究を中心とした研修を実施し、収集した好事例について全市的に波及させる必要がある。 ○生徒会が主体的に活動できる取組みについて、これまでの取組みを精査しつつ、考える機会を各校で設ける。	➤市教育委員会主催で、授業や評価の在り方をテーマにした「道徳教育推進担当者研修会」を実施するとともに、各校区研究実践やとりわけ評価については好事例を収集し、全校へ発信する。 ➤市で開催する「生徒会サミット」やリーダー研修等を活用し、主体的なボランティア活動について考えたり取組みを整理する機会を設ける。
⑤ 学校施設・設備の 整備	○ 学校施設は、未来を担う子どもたちが日々過ごし、学び・活動する場であるとともに、非常災害時には、地域住民の避難所としての役割を果たす重要な施設である。 ○ 本市の市立小中学校は、子どもたちの生命を守るために構造部材の耐震化を進めており、現在の耐震化率は100%であるが、近年の大規模な地震では、天井材の落下など「非構造部材」の被害も発生しており、その対策が喫緊の課題である。 ○ 本市の学校施設は、築年数が古く、また、校舎だけでなく、遊具等においても老朽化が顕著となっている。児童生徒の安全安心な教育環境を確保するため、継続的に学校施設の安全点検を実施していく必要がある。	➤ 学校施設は、平成10年度から平成23年度にかけて、耐震工事は完了しているものの、多くの建物が築40年を超え、施設・設備の老朽化が顕著となっている。平成31年度に策定した長寿命化計画を基に今後の40年先を見据え、非構造部材耐震化事業および老朽改修事業を計画的かつ効率的に実施することにより、これらの諸問題を解決していく取組みを推進する。 ➤ 学校施設の安全点検により、改修が必要と考えられる箇所について、落下防止や段差解消工事を優先的に実施し、児童生徒の安全安心な教育環境を確保する。また、事故等の発生を未然に防ぐため、継続的な安全点検を実施する。 ➤ 避難所としての体育館の空調機の整備を行う。
⑥通学路の整備	○ 平成24年に全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容についても関係機関で協議した。通学環境の変化に迅速に対応した継続的な安全対策が必要である。	➤ 通学路の安全確保に向けた取組みを引き続き行うため、子ども安全見守り隊や道路管理者、警察等の関係機関と連携し、子どもたちが安全に通学できるように通学路の安全確保を図る。
⑦ 給食を柱とした食 育の推進	○ 学校給食は、学校給食法に基づき安全安心な給食の提供を第一とし、栄養の摂取のみならず、心身の健全な発達に資するものとして小中学校とも実施。 ○ 食に関する正しい理解と適切な判断力を養うことを目的として、給食指導や給食を教材とした食育授業など、学校給食の積極的な活用を推進。 ○ 給食調理室の老朽化が進行し、新型コロナウイルス感染症対策を含め、衛生環境の向上を図る必要がある。	➤ 小学校から中学校の一貫した給食・食育指導の計画の策定や献立の工夫などを行い、本市における学校給食が学校教育の太い柱となるように、小中学校のさらなる連携を深めていく取組を推進する。 ➤ アフターコロナに向けて、給食室の改修工事及び給食実施方式(自校方式や親子方式等)のあり方の検討を進めていく。

⑧ 放課後の居場所 づくり	○女性の社会進出等により、放課後の居場所のニーズが多様化する中、生涯学習施設が担うべき役割の拡充や放課後を利用した学習環境の充実が求められている。	➤ 各施設の特性を活かした事業実施による居場所づくりを推進する。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、事業内容を精査し、中止又は縮小の判断を行う。放課後児童クラブに関しては、就労支援の観点から休止は行わない。 ➤ 「放課後子ども教室」が、子どもたちの居場所であり、学習の場であり、地域とつながる場であり続けるために必要な、人材発掘・民間企業プログラムの活用について、マネジメントに取り組む。 本年度においては、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、各校の状況に応じて実施する。(3学期から実施など)
------------------------------	--	---

重点3 開かれた魅力ある学校づくり

項目	現状・課題	主な取組・方向性
① 小中一貫教育による学校教育の大東ブランドづくり	○ 各中学校区においてめざす子ども像を作成し、学校、家庭、地域とともに子どもを育む小中一貫教育を推進する必要がある。 ○ めざす子ども像を実現するため、各教科における9年間を系統立てたカリキュラムを作成するとともに、より充実したカリキュラムとするためにも、継続して議論を重ねていく必要がある。 ○ 各中学校区において、小中学校の児童生徒や教員同士、また児童と中学校教員など、様々な交流活動を積極的に行うことで、小中学校それぞれの良さを融合した系統的な教育を確立していく。	➤ 3年間の小中一貫教育モデル校区事業で得られた効果と課題を検証し、全中学校区において段階的に、これまでの小中連携教育から小中一貫教育への取組みを進めていく。 ⇒4, 5月は臨時休校措置のため、小中一貫教育の取組みを進めることができなかった。6月から学校再開となったため計画の立て直しを行い、8月から取組みをスタートする予定。
② 少人数学級の推進	○ 少人数指導を取組むにあたり、子どもたち一人ひとりの学習状況の把握し、個々に応じたきめ細やかな支援を行う。 ○ 効果的な少人数学級編制の実現に向け、効果検証と課題解決における調査研究を継続して進める。	➤ 引き続き、子どもたち一人ひとりの状況をしっかりと把握し、より効果的な少人数指導が実行できるような授業づくりに向けて、調査研究に努める。 ➤ 独自に少人数学級編制を実施している先進市の取組状況や国の調査等について情報収集を行ってきたところ、効果と課題について見えてきた。効果的な取組みの実現に向けて、今後も課題を解決するべく調査研究を推進するとともに、継続して検証も行う。
③ 地域に開かれ信頼される学校づくり	○ 子どもたちの健やかな成長のためには、子どもを取り巻く地域・社会全体で支援する必要がある。 ○ 子どもたちが地域の方々との深いつながりをつくることで地域を愛する心を育めるように努める。	➤ 地域教育協議会をはじめとした、地域と学校が協働による取組みを促進することで、学校が核となって地域で子どもたちを育てていくという意識を醸成し、地域とともにある学校づくりをさらに推進する。 ⇒コロナ感染症感染拡大防止のため、例年5月に開催している各地域教育協議会の交流会は実施できなかった。
④ 学校情報の発信	○ 「大東学び合いネット」を活用した学校ホームページにより、全校が日々の学習の様子や児童・生徒のがんばりを毎日配信している。	➤ 各校のホームページへのアップ数は年々増加しているとともに、保護者や市民のアクセス数も増加している。引き続き、タイムリーに情報や子どものがんばりを発信していく。

⑤ 地域人材の有効活用	○ 地域とともにある学校をめざし、地域の方々と継続的なつながりをもつとともに、「特別の教科道徳」においても道徳性の育成の中で地域の方々とのつながりや感謝の気持ちを育む。	➤ 学校支援事業による地域人材の活用や部活動指導員の採用を行う。また、子どもの安全見守り隊への感謝集会の開催等、地域の方と触れる機会を各校園で設ける。
⑥ 多様な体験活動の推進と世代間交流の促進	○ ライフスタイルの多様化により、大人数の子どもたちが異年齢間交流できる活動機会が減少している。	➤ こども会等の社会教育団体と生涯学習施設におけるイベント実施に際しては、現代の子どものニーズを的確に捉えることで、参加者を獲得し、かつ、「楽しい」だけで終わらない、付加価値が生まれる視点を意識する。 ➤ 新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、学校園が利活用しやすい「野外活動センター」となるよう創意工夫し、情報発信を行うとともに、異年齢・世代間交流が体験できる事業の実施に取り組む。
	○ 世代間交流で学ぶ社会性について、生涯学習の観点から積極的なアプローチが必要 ○ 本市の貴重な資源である「自然学習施設」が、子どもの社会教育等に最大限の効果を発揮できていない。	

教委議案第 28 号

令和 3 年度使用大東市立中学校教科用図書の採択について

令和 3 年度使用大東市立中学校教科用図書を採択することについて、委員会の議決を求める。

令和 2 年 7 月 30 日提出

大東市教育委員会
教育長 水野 達朗

理 由

中学校の令和 3 年度使用教科用図書については、令和 2 年 7 月 8 日の大東市教科用図書選定委員会(中学校)において慎重に検討された結果、答申が出された。については、この答申を受け、本市採択教科用図書を決定するため。

答 申 文

令和2年7月30日

大東市教育委員会 様

大 東 市 義 務 教 育 諸 学 校
教科用図書選定委員会(中学校)

令和3年度大東市立中学校使用教科用図書の選定について

令和2年4月16日付、教育委員会より諮問のあった標記について、別添のとおり答申します。

《 国 語 》

○ 東 書 「新しい国語」

紹介図書が多く、内容也多岐にわたる。レイアウトの工夫により、総ページ数は他者とかわらない。

すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいよう、フォントや文字のレイアウト、図等の配色などが配慮されている。

他教科の学習内容との関連があり、相互に学びを深めることのできる題材を多く取り上げ、教科関連マークで示されている。また、全国学力・学習状況調査で求められる学力の育成を意識して、文章や言語活動の題材が示されている。

「振り返り」は学んだことを自分の言葉でまとめる形になっており、「学びを支える言葉の力」では、学習した内容を深めたり、社会生活に生かしたりするよう配慮されている。

○ 三省堂 「現代の国語」

学び方を学ぶ観点から、9種類の「思考の方法」が図解によってバランスよく配置されており、学ぶ意義を自覚しながら、自主的な活用につながるよう工夫している。

知識及び技能を習得する学習と思考力・判断力・表現力等を育成する学習とが系列的に配列されている。

○ 教 出 「伝え合う言葉 中学国語」

「学びのチャレンジ」では、全国学力・学習状況調査や高校入試なども視野に入れ、高校までの学びにつながる工夫がある。

「読むこと（説明的文章・文学的文章）」の取り扱いページ数が多い。

1年生の資料編では、小倉百人一首を全て記載することで、少しでも古文に触れさせようという意図が感じられる。

○ 光 村 「国語」

古典の文章と現代の文章が、並んで示されているので違いが分かりやすい。

「書くこと」の取扱い箇所数が32、ページ数が117ページと多い。

「学習」を上下2段に整理し、「見通しをもつ」→「捉える」→「読み深める」→「考えをもつ」→「振り返る」という学習過程を明確に示している。

伝統的な言語文化である短歌や俳句等の教材が充実している。

保護者に向けたメッセージのページがあり、きめ細やかだと感じる。

《 書 写 》

○ 東 書 「新しい書写」

全国学力・学習状況調査に対応した課題設定がある。

職場訪問、防災訓練、卒業作品といった、教科横断的学習で書写の学びを生かす内容が設定されている。

手本ページの左端に、既習内容やポイントがわかりやすく色付けされている。

時候の挨拶や「二十四節気」等の扱いが、拡張ページで効果的に示されている。

○ 三 省 堂 「現代書写」

横書きや数字・アルファベットのなぞり書きの課題がある。

行書にはさまざまな書き方があることに触れており、実際に異なる二つの書き方を紹介している。

文字の変遷、文字に関わる仕事など、多様な内容に触れている。

○ 教 出 「中学書写」

縦書き横書きそれぞれのノートの取り方やメモ、レポートのまとめ方の例が載っており、中学校での授業開始時期や他教科で活用できる。

筆記用具を表す記号がついており、活動で使用させるときの参考になる。

毛筆で学習することについて、まず硬筆による「試し書き」でポイントを学習することができる。

○ 光 村 「中学書写」

全国学力・学習状況調査に対応した課題設定がある。

楷書から行書への接続が、体験型で入りやすい。

学習に適した十分な分量があり、特に硬筆で教科書に書き込める部分が充実している。また、3年の内容量も十分にある。「書写ブック」として硬筆練習帳が添付されているので、繰り返し練習でき、書く力の定着を図ることができる。

指導書のDVDに、半紙手本や名前見本が作成できるソフトが入っている。

《 社会 地理的分野 》

○ 東 書 「新しい社会 地理」

単元を貫く問いが明確に示されており、1時間ごとの学習課題を明らかにしていくことで理解を深めることができる構成になっている。

「探求課題」(単元を貫く問い)と探求課題の解決を補助する「探求のステップ」、1単位時間の学習のめあてである「学習課題」の3段階の問いで構造化し、細かいステップで課題解決していくことで、思考・判断した内容を適切に表現する力が身につくことが期待できる。本文ページの表題には、めあて(学習課題)、「集める」「読み取る」「まとめる」などの活動コーナー、「見方・考え方」コーナー、振り返りに活用できる「チェック」や「トライ」などが配置されており、学習の見通しが持ちやすく、学びを深める工夫がなされている。

特別支援の観点から、「フラットデザイン」を採用し、本文ページにはキャラクターを使用していない。

○ 教 出 「中学社会 地理 地域にまなぶ」

本文ページのタイトルには、学習内容を象徴的にイメージさせる主題と、学習事項を示す副題を置き、併せて「学習課題」を明示していることで、生徒が課題意識をもって学習に取り組むことが期待できる。

特設ページ「地域から世界を考えよう」等で、世界や日本の諸地域における今日的課題や歴史的課題の現状について考え、ページの最後に設けた「Q」により、さらに学習を深めることができる。

1年時には世界の人々の生活と環境でアイヌ民族について知り、2年時に北海道地方の内容でより深く取り扱うことで、既習事項である内容と関連付けて内容を深めることができる。

○ 帝 国 「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」

本文ページにも比較的大きな写真資料や地図、グラフが配置され、とくに写真資料は、人々の暮らしや地域の姿が見えるものが多く、充実している。また、写真のページやイラスト地図のページが配置され、興味・関心を高める工夫が感じられる。

○ 日 文 「中学社会 地理的分野」

導入ページに写真が大きく掲載されていたり、クイズを設定していたり、地域的特色を具体的にイメージできるようになっており、本文ページの理解を助けるようになっている。

「トライ」「スキルUP」「アクティビティ」「チャレンジ地理」などのコーナーで、自分の考えを自分の言葉で表現できるように課題が設定されている。

《 社会 歴史的分野 》

○ 東 書 「新しい社会 歴史」

章のはじめに探究課題を提示し、各節のはじめには「探究のステップ」が設けられていて、考える内容が明確にされている。

学習課題がシンプルで分かりやすく、「みんなでチャレンジ」のページではグループでの話し合い活動ができるように工夫されている。

各章末に「歴史のまとめ」があり、より探究することができる。

○ 教 出 「中学社会 歴史 未来をひらく」

本文と資料が同等の分量で配置されており、非常に読みやすい。また、年表が縦に掲載されており、大きくて見やすい。

コラム「歴史の窓」として、これまではあまり取り扱われることのなかったエピソードを掲載し、歴史への興味や関心を引き起こしている。

章のはじめの「学習を始めよう」のページに大きなイラストや写真を用いた上で、Q1～3を設けることによって興味を引くものとなっている。

○ 帝 国 「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」

「タイムトラベル」のページがあり、イラストで視覚的に興味をもたせやすくしている。また、時代を概観させる大きなイラストが掲載されており、学習のポイントについて確認することができる。

時代区分に大きくページを費やし、歴史を大観してとらえさせる工夫がみられる。

歴史地図以外にも、地理的資料が多く用いられており、地理的分野との関連を強く感じられる。

○ 山 川 「中学歴史 日本と世界」

学習内容が豊富で、高等学校での学習を見据えた分量である。

「歴史からのアプローチ」や「歴史を考えよう」のページで深く掘り下げた内容となっている。また当時の様子をより詳しくとらえるための課題が設定されている。

○ 日 文 「中学社会 歴史的分野」

人権の取り扱いでは、「現代の女性」のコラムでは、女性の活躍を取り上げている。

巻頭において、小学校での既習事項について確認をしながら、主体的・対話的な学びを通して中学校での学びにつなげようとする工夫がみられる。

リサイクルや環境保全をテーマに、地理的、公民的分野との関連がみられる。

○ 育 鵬 社 「[最新] 新しい日本の歴史」

地域の歴史では、大阪について触れている。

各章のはじまりに「鳥の目」「虫の目」の視点が紹介されており、章の内容をイメージしやすい。

近代はじめに活躍した外国人の視点から、当時の日本の様子や出来事をとらえている。

○ 学 び 舎 「ともに学ぶ人間の歴史」

端的でインパクトのあるタイトルを使用し、想像力を駆り立てるものとなっている。

問題提起する内容が、特に近現代に多く、学びの広がりにつなげることができる。

A 4 サイズを使用し、豊富な資料と記述を盛り込む工夫がある。

年表では日本のできごとを同時代の世界の動きと関連づけてまとめている。

《 社会 公民的分野 》

○ 東 書 「新しい社会 公民」

学習の目標を意識した逆算できる構成となっている。

基本的人権についての記載は表ではなく、図を用いた視覚的にわかりやすいものとなっている。

中学3年生でも身近に感じられるよう、成人年齢引き下げに伴い、主権者教育や消費者教育にページを割き、見やすい資料で内容が示されている。

特別支援の観点でも、UDフォントが採用されていたり、色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や工夫でグラフや資料が掲載されている。

インターネットを活用した学習が効果的な部分には、マークやQRコードが付されており、授業時のみならず家庭学習においても視覚的に学びやすいサポートツールが用意されている。

○ 教 出 「中学社会 公民 とともに生きる」

単元目標の表現が興味関心を引くように工夫されている。

特設ページ「言葉で伝え合おう」では、ディベート・情報の入手と活用・シミュレーション・プレゼンテーション・計画の立案・レポートの作成などの手法が、公民の学習を通じて学ぶことができる工夫がある。また、視点を変えて学習内容を捉えなおす「特設ページ」が設置されている。

特別支援の観点では、UDフォントが採用されていたり、色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や工夫でグラフや資料が掲載されている。

○ 帝 国 「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」

憲法や人権思想など歴史的背景を用い、理解が深められるように、資料提示や問題提起がなされている。

QRコードが付されており、授業時のみならず家庭学習においても視覚的に学びやすいサポートツールが用意されている。

○ 日 文 「中学社会 公民的分野」

編ごとに設定された「学習のはじめに」から個人と社会との関わりについて理解し、課題解決、情報整理が可能となっている。

インターネットを活用した学習が効果的な部分などは各章の冒頭にQRコードが付されており、授業時のみならず家庭学習においても視覚的に学びやすいサポートツールが用意されている。

○ 自 由 社 「新しい公民教科書」

「ミニ知識」や「もっと知りたい」など更なる学びや探究心を誘う内容となっている。

各章の最後が「学習のまとめと発展」など、思考力・判断力・表現力を磨くような内容となっている。また、見開きページの中に重要語句に番号が設けられ、解説が掲載されているので、生徒が主体的に調べ学習等を行うにあたって、有効であると思われる。

○ 育 鵬 社 「[最新] 新しいみんなの公民」

「〇〇の入口」から個人として社会との関わりを意識し、課題解決能力を養うように構成されている。

図版資料には、見開きごとに通し番号が付けられているので、学習範囲を整理しやすい。

学習内容の理解をより深めたり、多面的・多角的に考えたりする視点を提示するコラムが設けられている。

《 地図 》

○ 東 書 「新しい社会 地図」

SDGsや人口・貧困問題、紛争・難民問題等の人権の学習に資する資料が取りあげられている。

中学生の発達段階に応じた地図、グラフ、写真などの資料が豊富である。

キャラクターのコメント、「Dマークコンテンツ」の活用で、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

○ 帝 国 「中学校社会科地図」

統計資料のデータが最新(2017年)のものが多く掲載されている。

世界の各州は一般図、鳥瞰図、資料図という配列、日本の地方は地方別地図、拡大図、資料図という配列で、それぞれの特色を具体的に読み取れる構成となっている。

イラストを配した鳥瞰図は、世界各州のさまざまな特色を視覚的に読み取りやすく、生徒の関心につながる。

「防災」に関する資料が、日本の7地方すべてに設置されるなど、充実している。

「地図活用」「二次元コード」の活用で、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。

《 数学 》

○ 東 書 「新しい数学」

とにかくシンプルなスタイルで、まずはすべての生徒に数学的な内容をわかりやすく伝えようという特別支援教育的姿勢を感じる。

見開きですっきりまとまった内容、情報量が適切である。

他教科とのつながりを記号で表し、QRコード「学びをひろげよう」のアクセスで他教科の教科書のページが表示されるなど、容易に学習の広がりを展開できる。

○ 大 日 本 「数学の世界」

【めあて】は、課題設定が生徒の視点で考えられていてわかりやすい。また、問題発見・解決の流れを示すことで、生徒が理解しやすくなっている。重要項目のまとめや、正多面体模型などが充実している。

フォントが少し大きめで、あまり文章を詰め込んでいない印象である。

○ 学 図 「中学校数学」

裏表紙の裏がマイホワイトボード仕様になっている。

章のおわりの「役立つ数学」「深めよう」は課題学習に使えるよう工夫されている。

1年生の巻末資料「カードゲーム」は生徒が興味を引く教材となっている。

章ごとに学んだことを振り返るページがあり、理解度を自分で確認することができる。

○ 教 出 「中学数学」

1年生の内容に「1章 整数の性質」が入って8章立てで構成しているところが特徴的である。

巻末に「学びのマップ」があり、学習を整理する工夫が見られる。

「学習する前に」のページがあり、既習事項の確認ができることや、章全体の問題の前に「学習のまとめ」ページあり、細やかなステップが丁寧に設定されている。

○ 啓 林 館 「未来へひろがる数学」

男女の登場回数が均等である。

章末の「学びを確かめよう」や、1節ごとのおわりの練習問題などは分量が多く、学習の定着だけでなく応用へと展開できる。さらに、「学びを生かそう」では身近な題材を取り上げ、発展的な学習へつなげている。

○ 数 研 「日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせるこれからの 数学

見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学
(探究ノート)」

シンプルなスタイルで、まずはすべての生徒に数学的な内容をわかりやすく伝えようという特別支援の観点においても配慮されている。

数学で取り扱う筆記体の文字や、不等式の数直線上の表記の仕方など、すでに整理して

表記してあり、教員にとっても助かる部分がある。

「探求ノート（課題学習とワークシート）」が別冊になっているので、例題数が多く、学習内容を確実に習得できるように設定されている。

2年生の証明の進め方がわかりやすくまとめられている。

○ 日 文 「中学数学」

章の問題「とりくんでみよう」では、やや発展的補充を分離しているので使いやすい。

課題設定の【めあて】が生徒の視点でわかりやすい文章で表現されている。

学習の中で、生徒間の交流を想定した「対話シート」が巻末にあり、書き込んだあとに切り取ってノートに貼れるよう工夫されている。

《 理科 》

○ 東 書 「新しい科学」

学習課題が明確になるような構成になっている。

イラストを多用し、生徒が疑問に思いやすいところを気づかせる工夫がされている。

学習の流れの中にやや発展的な内容が盛り込まれているため、スムーズに学習できる。

どのページでも図や写真が左側に文章、右側に写真と決まっているので分かりやすい。

○ 大 日 本 「理科の世界」

目次の「地震」の欄に「先生・保護者の方へ」との記述があり、細やかな配慮を感じる。

イラストや写真で用いている人の表現に偏りが少ない。

実験などで注意する点が分かりやすく明記されている。生徒が復習や調べ学習をする際にも活用しやすくなっている。

具体的に探究の進め方を記載することで、発展的な学習を促している。

○ 学 図 「中学校科学」

教科書の最後にアイデアボードがついており、ホワイトボードのようにして使用できる点に子どもどうしをつなぐツールとしての工夫を感じる。

発展的な内容や、チャレンジ的な内容も分かりやすく説明されているところが多い。

探究として仮説を立てるなど考えることが前提となるよう誘導されているため、「学び合い」の基礎が身につけやすくなっている。

○ 教 出 「自然の探究 中学理科」

重要単語などが色付きの太文字になっており、見やすく、多くの漢字にふりがなが打たれており、さまざまな生徒の状況にも対応できる。

単元の最後に重要語句の確認と基本問題がついており、自分で学習を補充することが可能である。

○ 啓 林 館 「未来へひろがるサイエンス」

図版、写真、章末問題などが豊富である。また、コラムの欄では、時事内容が多く書かれており、興味をひく内容になっている。

導入時に「学ぶ前にトライ！」で問いかけた内容を、単元末に「学んだあとにトライ！」で再度問うことで、学習を振り返り、生徒が深まりを実感できるような工夫がある。

《 音楽 一般 》

○ 教 出 「中学音楽 音楽のおくりもの」

学習内容の関連が、「学びのユニット」として示され、わかりやすい。写真資料が見やすい構成である。

「まなびリンク」のあるページでは、情報をウェブサイトで見えて自主学习につなげることができる。

○ 教 芸 「中学生の音楽」

見通しが「学びの地図」として掲載され、身に付けられる資質・能力が大変わかりやすい。

道徳教育の観点で取り上げられる歌詞（楽曲）があり、工夫を感じる。

ポピュラー音楽のジャンルが海外編と日本編に分かれているので比較しやすいなど、生徒が興味・関心をもって音楽に触れ親しむ工夫がある。

作曲家や音楽家・芸術家からのメッセージなどが掲載されており、音楽文化について豊かに関わる工夫がある。

《 音楽 器楽合奏 》

○ 教 出 「中学音楽 音楽のおくりもの」

見やすくシンプルなデザインとなっており、また、やや難しい楽曲もあるが、絵や写真でわかりやすく構成されている。

「まなびリンク」のあるページでは、情報量が多く学習に役立つ情報をウェブサイトから取り入れ、自学に発展できる。

○ 教 芸 「中学生の音楽」

アンサンブルのコーナーでは、「アンサンブルセミナー」の中になじみの深い楽曲を使い、楽器の基礎的な知識や奏法が学習できるよう工夫されている。また、アルトリコーダーの二重奏曲、三重奏曲や、打楽器のためだけの作品など多岐にわたり使いやすい。

小学校より慣れ親しんでいるソプラノリコーダーとのアンサンブルを数多く取り入れており、アルトリコーダーへの導入に工夫がある。また、小学校で扱った楽曲も取り入れており、生徒が興味を持ちやすい構成である。

《 美術 》

○ 開 隆 堂 「美術 発見と創造・探求と継承」

鑑賞分野で、詳しく深い内容が多い。

他教科との関連やキャリア教育に役立つ内容があり、暮らしの中に美術が関係していることを学べるページがある。

他教科とのつながりが、ページの横に示されているのがわかりやすくよい。

○ 光 村 「美術」

絵巻や版画などの鑑賞の分野では、紙質にもこだわるなどの工夫がよい。

表現の単元で発想や構想のための「手立て」が示されており、表現分野の内容が大変充実している。

生徒作品例が多く、作成の過程や作者の言葉も示されており、どの生徒がみても取り組みやすそうな例となっている。

焦点が絞られており、教科書を開いた際に、生徒に見せたいところが明確でわかりやすい。

「表現」と「鑑賞」を相互関連させることで内容がリンクしており、授業を組み立てる際に工夫して活用できる。

○ 日 文 「美術 美術との出会い・学びの実感と広がり・学びの探求と未来」

1年生の「出会い」～3年生の「探求と未来」へと発展させていく目標設定の全体像があり、中学校3年間の美術の学びを見通した「成長の地図」が良い。

生徒の興味をそそる新鮮な写真・資料・各界の人物の言葉など、興味深い内容を盛り込んだ工夫がある。

《 保健体育 》

○ 東 書 「新しい保健体育」

各単元ははじめの学習課題、キーワードが大きく表示されており、分かりやすい。

「活用する」の問いは、1人ひとりの考える内容が明記されており、個人思考からグループ思考へとつなげやすい構成になっている。

1時間の流れの表示が生徒にとってイメージしやすい。

インターネットを使用したコンテンツが充実しており、コンテンツ内容も一覧で見られるようになっており、アクセス方法も説明されているので子どもが使用しやすいようになっている。

他教科との関連として取り上げているところが30箇所もあり、大変充実している。

○ 大 日 本 「中学校保健体育」

各ページの「トピックス」に学習用語がしっかり説明されているのが良い。

学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列となっている。

学習のポイントとなる言葉が最後にまとめられており、学習内容の整理がしやすくなっている。

○ 大 修 館 「最新 中学校保健体育」

各ページにイラストの男女、お年寄りの人、ハンディキャップのある人などが偏りなく描かれている。

コラムの内容が、昔と現在を比べる内容が使われていたり、データを示しているものが多く掲載されていたり、自身の行動を見直そうと思えるような表現や作りになっているものが多い。

○ 学 研 「中学保健体育」

性的マイノリティなどについて取り上げられている。

学習者と同年代の人が活動する写真などが多く掲載されており、学習者が意欲的に学ぶことができる。

「学習の目標」から「まとめ」まで身近に考えやすい資料が使われている。

《 技術家庭 技術分野 》

○ 東 書 「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」

「問題解決カード」として、教科書に問題発見・課題の設定を書き込めるスペースがある。そして、同様に、先に自分が設定した課題を解決できたかを振り返るスペースもある。

情報モラルについて事例が6種類掲載されており、そのすぐ下に情報に関する技術の便利な点と注意すべき点の対比解説がある。

○ 教 図 「New 技術・家庭 技術分野明日を創造する(技術ハンドブック)」

領域の最後に、未来の技術について振り返るスペースがある。

比較的、知的財産や個人を守る権利や法律に重点が置かれている。

各領域、最初に「つくって学ぼう」「育てて学ぼう」で始まっており、実習→知識・技能をおさえた問題解決→まとめの流れで学習ができるようになっている。

別冊でハンドブックは、基礎的な技能が参照しやすい。

「技ビット」として技術者からのメッセージと、「先輩からのメッセージ」として高校生からのメッセージが紹介されている。

○ 開 隆 堂 「技術・家庭 技術分野テクノロジーに希望をのせて」

各領域において、「問題解決の流れ」というタイトルで、PDCAサイクルなどに触れながら問題を見出して課題を解決する力をつけられるようになっている。

文章と絵・図・表のバランス、特にスペースの取り方が良く、教科書が読みやすい。また、文章の意味がつかみやすいように、1つの単語が行をまたがないように工夫している。

広い範囲の知識や技能を、シンプルに掲載しており、分量が多く、内容が充実している。また、「参考」という形で、発展的な内容も取り上げている。

中央に文章、周囲にイラスト・図という配置になっており、迷わずに確認できる配置になっている。

《 技術家庭 家庭分野 》

○ 東 書 「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」

各編の最後に「学習のまとめ」があり、問題が充実している。

「食生活と自立」から学習を始める学校が比較的多いと思われる中で、「食生活」の単元が最初に配置されているため学習しやすい。

巻末に「子どもの視界体験眼鏡」がついていて、実際に視界体験ができるようになっている。また、巻末に「防災・減災手帳」もついており、防災教育に活用できる。

○ 教 図 「New 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する」

各単元が、「見つめる」、「学ぶ」、「ふり返る」で構成されていて、学習の流れがわかりやすい。

単章のはじめに「自立度チェック」があり、目標を立てやすい。

「消費生活・環境」の冒頭ページに、SDGsを大きく取り上げ、他と関連づけている。

「衣生活・住生活」の単元は、特に表やイラストが大きく示されていてわかりやすい。

各章の最後には、「センパイに聞こう！」として、学生や社会人の幅広い体験を紹介している。

○ 開 隆 堂 「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」

各分野とも、「学習への関心を高める」、「学習課題に取り組む」、「生活にいかす」という流れで構成されており、取り組みやすい。

SDGsのロゴを使いながら、どの目標が各内容の学習と関連しているか、わかりやすく示されている。

情報量が多いが、写真やグラフが大きく示されており、すっきりとして見やすい上に、文字量とのバランスが良い。

他教科、他分野との関連がアイコンでわかりやすく示されており、それらと結びつけながら学習することができるようになっている。

「中学生に必要な栄養を満たす食事」に関するページ数が比較的多く、写真や図が充実している。

「豆知識」「参考」など、単元ごとの発展的な資料が豊富に載っており、情報量が多く、発展的な学習につなげやすい。

《 英語 》

○ 東 書 「NEW HORIZON English Course」

1 ページあたりの学習事項は多岐にわたり、複数の技能・領域を統合的に習得することで多様なコミュニケーションが可能となっている。特に「読み」については、まとまった英文が組み込まれ充実している。

1 ページで複数の重要事項を学習させると共に、語数や文の量、活用できる表現が増やされており、既習事項をスパイラルに学習ができる。

QRコードが付されており、学校外でも音声を聞くことができる。

各ページ中央の本文の周りにスピーキング、小学校の単語、QRコード、進出単語、ライティング、リズム・強勢をつけたスピーキング練習と、発音のコーナーを設け、多様な学習を選択できるようになっている。

○ 開 隆 堂 「SUNSHINE ENGLISH COURSE」

人権の取り扱いについて、英米に偏ることなく広く世界をカバーし、貧困地域に生きる人や、病気の人などについての内容が含まれている。危険なサバンナを通して学校に通う少年も取り上げられ、少年が夢をもっていることなど、人権について学ぶことができる。

授業以外の場でも本文音声を聞けるようにQRコードが付いている。

○ 三 省 堂 「NEW CROWN English Series」

目標や学びのプロセスが提示されており、学習の見通しを立てたり、振り返ったりすることができる。

「言葉を使う」ことの意味を3つの角度から提示し、それぞれどのような意味合いがあるのかを示し、学びへの展望を持たせている。

さまざまな人種の写真や人物の絵が自然に取り入れられている。

「文字と音」から学びがスタートし、全体を通して「聞く・話す」の取り扱いが多く、実践につながる内容である。

学年を追って難易度が徐々に上がっており、発達段階に適合した内容が、身近で日常的なものから、環境や人権問題などの社会的なものまで取扱い、生徒の興味・関心を広げる内容となっている。表現活動についても、発達段階に沿って取り入れられている。

基本の文法事項の習得を基軸に、豊富な投げ込みの活動や教材で、さまざまな実践的なコミュニケーション活動を積み上げていくことができ、子どもにはわかりやすく、教員には使いやすい内容になっている。

学習事項や使用単語の量が、生徒が学び取りやすく望ましいレベルである。

授業以外の場でも本文音声を聞けるようにQRコードが付いている。

○ 教 出 「ONE WORLD English Course」

小中接続をスムーズに行えるような到達目標が設定され、配置されている。

教科書指導の授業配当時間は各学年110時間前後で8割と少し余裕を持って構成されている。

語句の習得や内容把握のための自主学習用のマスキングシートが付属されている。
学習の段階に応じて文字の書体やサイズを変えている。

○ 光 村 「Here We Go! ENGLISH COURSE」

挿絵に車いすバスケットボールのものが載っているなど人権の取扱いを強く意識して構成されている。また、いじめ、ユダヤ人迫害など「いのち」を考える授業を意識的に設定されている。

文を読んで意見を交流したり、日本文化の魅力発信活動や、国際理解のための小教材を系統的に位置付けたりしている。

内容や積み上げ方やゴールが明確で、中 1 で導入しやすい簡単な単語と平易な英文を用いており、学習者にも教員にも使いやすい。

各ページの本文の量が適切で、生徒がきちんと意味を捉えて本文を読みこなすことができる。

○ 啓 林 館 「BLUE SKY English Course」

内容の取扱いが、従来の教科書づくりを守っており、段階を踏みながら広げ深める工夫がある。

巻末に学年を通したCan-Doリストが掲載され、各項目には「～することができる」という目標設定がされている。

目次に新出文法事項を示してあり、学習目標が明確になっている。

《 道 徳 》

○ 東 書 「新訂 新しい道徳」

A4サイズで最も大きく、見やすく工夫されている。

巻末に、学期ごとに生徒が自己評価を行うことのできる「自己評価用紙」や葛藤教材で活用できる「心情円」が切り取り式で用意されている。

主題として考える観点が示され、生徒が見通しを持ちながら考えられるよう取り扱われている。

○ 教 出 「中学道徳 とびだそう未来へ」

教材の冒頭には導入の「問いかけ」が示され、生徒が見通しを持ちながら考えられるよう取り扱われている。

問題解決的な学習や役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動を取り入れた「やってみよう」が設けられ、各学年において多様な学習が展開できるよう工夫されている。

○ 光 村 「中学道徳 きみが いちばん ひかるとき」

教材の冒頭には内容項目が示され、生徒が課題意識を持って考えられるよう取り扱われている。

「人と人との関係づくり」が配当されており、学級づくり、友だちとの関係づくりに生かされるための配慮もなされている。

○ 日 文 「中学道徳 あすを生きる（道徳ノート）」

主題を想起させるキーワードがあり、生徒が見通しをもちながら考えることができるように取り扱われている。

重要なテーマについては、複数の教材・コラムをユニット化することで、多面的・多角的に学習できるよう配慮されている。

○ 学 研 「新・中学生の道徳 明日への扉」

巻頭に自分を見つめる「マイプロフィール」、巻末に心の成長を振り返る「心の四季」「未来への扉」、各学期の振り返りができる「学びの記録」が設けられ、1冊全体で1年間の自分の成長を感じて主体性や自尊感情を高め、これからの生き方を考えることができるように工夫されている。

○ 廣あかつき 「中学生の道徳 自分を見つめる1・自分を考える2・自分をのばす3（中学生の道徳ノート）」

教材の冒頭には、学習する4つの視点やキーフレーズ等がなく、生徒が自分で学習の見通しを立てることができるよう配慮されている。

「本冊」と「道徳ノート」の2分冊で構成されている。

教材の末尾に学習する内容項目にそった名言を掲載し、先人や現代に活躍する人々の一言で生徒の価値や理解を深められる工夫がある。

別冊「道徳ノート」には、授業の進め方に応じて、自由に活用できる資料が取り扱われ

ている。

○ 日 科 「道徳 中学1 生き方から学ぶ・道徳 中学2 生き方を見つめる
・道徳 中学3 生き方を創造する」

教材の冒頭には、学習する4つの視点やキーワード等がなく、生徒が自分で学習の見通しを立てることができるよう配慮されている。

教材を補充する「もっと知りたい」や「込められた想い」では、多面的・多角的な視点から振り返って考えたり、更に新しい見方や考え方を生み出したりできるよう配慮されている。

8. 一般業務報告

1. 令和2年大東市議会6月定例会月議会 一般質問及び代表質問の要旨について
2. 大東市立小学校運動場等開放事業実施要綱について
3. 北条幼稚園及び北条保育所の施設統合について
4. 公立幼稚園における長期休業期間中の預かり保育の実施について

9. 会議録

水野教育長

それでは、7月の教育委員会定例会を開催いたします。

本日の出席状況について報告をよろしくお願いします。

北田部長

本日の出席者は教育長及び教育委員3名、合計4名でございます。

水野教育長

それでは、議事に入らせていただきます。

日程第1 「会議録署名委員の指名について」でございますが、本日の署名委員は、齊藤委員によりをお願いいたします。

次に、順番が前後しますが、日程第3 教委議案第28号「令和3年度使用大東市立中学校教科用図書の採択について」の提案理由の説明をお願いします。

奥村課長

教委議案第28号「令和3年度使用大東市立中学校教科用図書の採択について」のご説明をさせていただきます。

本議案は、令和3年度に大東市立中学校が使用する教科用図書を採択することにつきまして、教育委員会の議決を求めるものでございます。

理由といたしましては、中学校の教科用図書の採択につきまして、7月8日の選定委員会（中学校）において、慎重に検討、審議をいたしまして、その結果をまとめ、答申が出されました。

つきましては、この答申を受けて、本市中学校採択教科用図書を決定するため、よろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願いいたします。

水野教育長

本議案につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条、教育委員会の職務権限の第6号に規定のあるとおり、学校教育において教科の主たる教材として重要な役割を果たす教科書を、教育委員会の判断と責任により採択するという重要なものであります。

そのため、令和3年度に使用する中学校教科用図書の採択にあたりましては、教育委員会として適正な教科書選定の実施のため、「大東市義務教育諸学校教科用図書 選定委員会規則」にもとづき、選定委員会（中学校）に諮問をし、その意見を求めていたところです。

本日は、選定委員会（中学校）からいただきました答申をもとに、中学校教科用図書の採択につきまして、審議を行ってまいりたいと考えております。

まず、答申がなされるまでの過程について、選定委員長から説明をお願いします。

伊東指導監

教育長からもありましたように、4月16日に令和3年度使用中学校教科用図書の選定につきまして、教育委員会から諮問がありました。

それを受けまして、「大東市義務教育諸学校教科用図書 選定委員会規則」にもとづき、今年度の採択について審議してきたところです。

中学校においては、今年度が採択の年となっております。したがって、より専門的な調査を行うため、調査員をおくことを決定いたしました。

	調査員におきましては、発行者ごとに、「目標・内容の取扱い」、「人権の取扱い」、「内容の程度」、「組織・配列」、「分量」、「創意工夫」、「補足的な学習・発展的な学習」、の7項目を中心に、約1ヶ月にわたる調査研究を経まして、6月29日の調査員会において、班長より調査研究の報告をしていただきました。その報告資料をもとに、7月8日に選定委員会を開催し、調査員からの報告資料を慎重に整理し、まとめるという形で答申をさせていただいております。 また、市内8中学校へは見本本の移動展示を各校1週間ずつ開催し、学校としての意見を集約したものも参考にさせていただけるようにしました。 なお、6月1日～7月1日の約1ヶ月間、教育研究所にて、また大東市立東部図書館と大東市立西部図書館においても、教科書展示会を開催しました。教育研究所で閲覧された方は10名、3か所全てのご意見は8名分でした。 以上が経過報告でございます。
水野教育長 田中委員	わかりました。ほか、委員の方々から、ご質問はありませんか。 答申文では略称が使用されておりますが、正式な名称を確認していただきたいと思います。
水野教育長 伊東指導監	それでは、選定委員長から説明をお願いします。 それぞれの正式な名称を申し上げます。申し上げます順は、文部科学省の「教科書目録」にあります発行者番号順でございます。 なお、答申文につきましても、記述は発行者番号順となっております。 「東書」は「東京書籍株式会社」、「大日本」は「大日本図書株式会社」、「教図」は「教育図書株式会社」、「開隆堂」は「開隆堂出版株式会社」、「学図」は「学校図書株式会社」、「三省堂」は「株式会社三省堂」、「教出」は「教育出版株式会社」、「教芸」は「株式会社教育芸術社」、「光村」は「光村図書出版株式会社」、「帝国」は「株式会社帝国書院」、「大修館」は「株式会社大修館書店」、「啓林館」は「株式会社新興出版社啓林館」、「山川」は「株式会社山川出版社」、「数研」は「数研出版株式会社」、「日文」は「日本文教出版株式会社」、「学研」は「株式会社学研教育みらい」、「自由社」は「株式会社自由社」、「育鵬社」は「株式会社育鵬社」、「学び舎」は「株式会社学び舎」、「廣あかつき」は「廣済堂あかつき株式会社」、「日科」は「日本教科書株式会社」以上でございます。よろしくお願いいたします。
水野教育長 伊東指導監 水野教育長 太田委員	ほか、よろしいでしょうか。それでは、報告願います。 (答申文を読む) それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。 どの教科書もそれぞれ工夫がなされ優れた内容だと思いました。中でも答申文や各出版社見本本を比較しますと「東書」と「教出」が良いと思います。特に「東書」は、見やすさにおいて非常に工夫されており、読むことに苦手意識をもっている生徒にとって、大変配慮されていると感じました。
田中委員	「東書」は表紙が子どもにとって馴染みやすく、構成が明確に示されている点など、教員にとっても指導しやすいと思います。また、1年生の古典の「竹取物語」を取り扱ったページでは、カラーの折り込みページに5人の貴

	公子への難題を詳しく取り上げるなど、子どもが作品を味わうための工夫が感じられ良いと思いました。
太田委員	「教出」の１年生資料編では、小学校でもよく取り扱っている小倉百人一首を全て記載することで、少しでも古文に触れさせようという意図が感じられました。
齊藤委員	私も「教出」についてですが、「学びのチャレンジ」では、全国学力・学習状況調査や高校入試なども視野に入れ、高校までの学びにつながるよう意識して作られていることが感じられました。文章だけでなく、図や表、グラフから読み取る力をつけさせようとする意図を感じました。
水野教育長	どの教科書も最初に学習の見通しがもてるように、観点別に学習を表示する等の工夫がされていますが、「光村」の「思考の地図」では、より具体的に思考する段階を「広げる」「整理する」「深める」で分かりやすく表しているので、子どもが学習毎にこのページに戻ることができ、発展的な学習へと進めることができると思います。
齊藤委員	子どもの思考を分かりやすく表すという視点では、「三省堂」も、学び方を学ぶ観点から、９種類の「思考の方法」が図解によって示され、バランスよく配置されている点が、学ぶ意義を自覚しながら、自主的な活用につながると感じました。
田中委員	「三省堂」は、２年生の「歌の言葉」のページには、「365日の紙飛行機」の歌詞を掲載するなど、斬新な取り組みをしていると感じました。「東書」のキャラクター、コトハさんが時折出てきて、学習のヒントや投げかけをしているのもいいですね。
太田委員	「光村」は、裏表紙に保護者に向けたメッセージが掲載されています。ちょっとしたことですが、家庭でも教科書を使用することが想定される中、きめ細やかな配慮を感じました。
水野教育長	「東書」が見やすいとの意見がありましたが、私も感じました。作品ごとの挿絵のバランスがよく考えられており、子どもが実際に読んでいくときに、全体を捉えやすく、また物語文などの長文においても、読んでいて疲れないように感じました。 さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、「東書」が優れているように感じますが、どうでしょう。
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、『東書』を採択いたします。次に書写に移ります。
伊東指導監	(答申文を読む)
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
田中委員	どの教科書もそれぞれ工夫がなされ優れた内容だと思いました。「東書」と「光村」は色づかいがよく大変見やすいものとなっています。「光村」は２ページで見本を構成しているので、半紙に合わせるととても取り組みやすくなっています。
太田委員	私も「光村」はとても見やすく、取り組みやすいと感じました。
齊藤委員	「光村」は、学習の流れがわかりやすく示されている点でも、取り扱いやすいのではないのでしょうか。

田中委員	筆順の指導について見てみますと、「光村」は数字の大きさで変化をつけて、子どもたちにとっても、わかりやすく工夫されていると思います。「東書」もわかりやすく示されていますが、特に、『すー・とん・ぴたっ』などは書き方を言語化して、感覚でつかみやすいように工夫されています。
水野教育長	確かに、「光村」は筆順についても、一文字ずつ、筆順を確かめることができる点では、大変わかりやすいように感じました。また、各ページに QR コードがついていますし、今後、タブレットの導入を考えると活用が広がると思います。
太田委員	「三省堂」は教科書への書き込みが少し多いように感じましたが、アルファベットのなぞり書きなど、多様な内容が取り扱われているのは、特徴的です。
水野教育長	そうですね。「三省堂」は 48 ページにもある通り、太いフェルトペンの使い方から、新聞づくりにつなげ、より具体的に丁寧に指導ができると感じました。また、「教出」も生活に密着した内容が多く、実用的なものだと思います。
太田委員	「東書」はコラムの内容が興味深いものも多く充実しているように感じましたが、答申文にもありますように、「光村」は特に硬筆で教科書に書き込める部分が充実しており、書く力の定着を図ることが期待される点では、大変優れていると感じます。
齊藤委員	私も「光村」は、とても丈夫な紙質になっている点がよいと思いました。実習のときに墨がはねたりすることもございますので、丈夫な教科書がよいと思います。
水野教育長	ありがとうございました。さて、皆さんから出ましたこれらの意見と選定委員や調査員のご意見を総合的に考えますと、「光村」が優れているように感じますが、いかがでしょうか。
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、書写は『光村』を採択いたします。次に地理に移ります。
伊東指導監	(答申文を読む)
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
齊藤委員	どの教科書も、それぞれに工夫がなされている素晴らしい内容だと思います。「日文」では、それぞれの地域の人々の実際の暮らしの様子を学べるような写真や資料が豊富だと感じました。文化の尊重につながるところがよいと思います。
田中委員	私は、新学習指導要領を踏まえ、1 時間ごとの「学習課題」だけでなく、導入の活動として「探求課題」も設定することにより、子どもたちがまず地域などの特色を知り、出てきた疑問について調べ、さらなる探求へとつなげるという流れで構成されている点において、「東書」がより優れていると感じました。社会科という特性を生かして、課題解決的に学ぶことができますね。
太田委員	課題解決的に学ぶことに関連して、例えば「教出」の「地域から世界を考えよう」などの特設ページでは、個人やグループで意見を交流しながら学びを深め、世界や日本の今日的課題に迫ることができると思う

水野教育長

す。「Q」のマークによる問いかけが、地図やグラフなどの資料にもついていて、課題意識をもって資料を読み取れるよう工夫されているなど感じました。

田中委員

なるほど。今日的課題という点では、SDGsについては、どの教科書でも取り上げられています。特に「東書」「教出」「帝国」は、まず巻頭の見開きページ等で取り上げています。その中でも「帝国」では、関連する題材が多く取り上げられているなど感じました。それぞれの題材について、より詳しくより丁寧に内容を扱っているところがよいと思いました。

太田委員

同じ「帝国」でいいますと、小学校での既習内容を踏まえて学習が進むという流れになっている点において、「学び」につながりがあり、小中の接続が意識されていることがわかります。また、写真資料も豊富で充実しているいいですね。

齋藤委員

そうですね。「帝国」では、背景にマス目を使うことで写真等の資料がはっきりと見える工夫があるのが良いと思いました。また、全体的に文字が濃く、コントラストがはっきりとしていて、情報を読み取りやすいと感じました。

太田委員

「東書」でいいますと、例えば「地域調査の手法」の章において、まず情報収集から発表するまでの一連の流れが矢印を使って端的に示されていて、その後、流れ（手順）に沿って一つひとつ丁寧に提示されていました。全体を見通したうえで、具体的な学びの過程が示されており、学び方も含め大変わかりやすいと感じました。

水野教育長

社会科は特に、資料から学ぶ場面が多いですからね。その点、「東書」は、紙の材質や白の色味がちょうどよく、手に持った感じもいいです。たくさん写真や図表などの情報資料から子どもたちが読み取っていくことを踏まえますと、光が反射することもなく大変見やすいと思います。

ありがとうございます。

さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、「東書」と「帝国」が優れているように感じますが、いかがでしょうか。

答申文、選定資料等も踏まえまして、ここで採決をとらせていただきます。よろしいでしょうか。

水野教育長

【各委員 異議なし】

「東書」が良いと思う委員はいらっしゃいますか。

【田中委員、齋藤委員、太田委員 挙手】

「帝国」が良いと思う委員はいらっしゃいますか。

【水野教育長 挙手】

「東書」が3名ということになりましたので、「東書」でよろしいでしょうか。

水野教育長

【各委員 異議なし】

それでは、『東書』を採択いたします。次に歴史に移ります。

伊東指導監

（答申文を読む）

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

太田委員

「教出」の『歴史の窓』のコラム欄の内容が、これまで取り扱われること

	のないものが多く、興味深いものになっていると思います。
水野教育長	そうですね。「教出」では、子どもの興味・関心を高めるために、各単元のタイトルが物語の題名のように表現されている点に工夫を感じます。
齊藤委員	私も「教出」は、この時間で学習する時代がわかるように「時代スケール」で視覚的に示されており、時代の流れを意識して学ぶことができるように工夫されているので、とてもよいと感じました。
田中委員	考えるということが重要視されていますが、「帝国」の『多面的・多角的に考えてみよう』のコーナーでは、子どもたちに考えさせるページの内容がとても興味深いものとなっています。自分の考えや意見を書き込めるスペースも設けられ、取り組みやすい工夫もされていると感じました。
水野教育長	「山川」については答申文にもあるように、学習内容が豊富で成長を促すことができるようにも感じますが、情報量としてはかなり多いように感じました。また、「学び舎」は見出しのタイトルがドラマのような表記で子どもたちには受け入れやすいものかもしれません。「東書」は、大東市が進めている「学び合い」の学習につながる構成となっています。
田中委員	人権の取扱いについて言えば、「日文」は現代女性のコラムで女性の活躍を取り上げるなど工夫がされています。また、「育鵬社」は『歴史のターニングポイント』として、考える活動として課題提示をしている点がとてもよいと思いました。
齊藤委員	「教出」は表題のところに、時代や課題の記載があり、そのページで学習すべき内容がすべてわかるように集約されており、工夫が感じられました。また、全ページで、表示の位置が一定にそろえられるなど、支援教育の観点からも配慮が感じられました。
田中委員	「東書」はクラゲチャートや、ピラミッドチャートなどのさまざまなチャート図を紹介し、思考回路を図式化したり、物事を整理する手だてを示している点がとても興味深いと感じました。
太田委員	「教出」は本文と資料の分量のバランスがよくとても見やすくなっていると思います。キーワードについても太字のゴシック体で少し大きめに示すなど、視覚的にも見やすい工夫がされているように感じられることから、やはり「教出」が優れていると感じました。
水野教育長	ありがとうございます。さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、「教出」が優れているというご意見が多いように感じますが、いかがでしょうか。
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、『教出』を採択いたします。次に公民的分野に移ります。
伊東指導監	(答申文を読む)
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
太田委員	答申文にもあるように、「東書」は、特別支援の観点で、色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や工夫があり、グラフや資料も工夫されて掲載されていると思います。
田中委員	「東書」の現代社会の章では、身近な活動で起こりそうなトラブルを漫画で取り上げて、学校生活と公民をつなぐ工夫が感じられました。また、その

	解決方法が具体的で、公平・公正についてじっくり考えられる内容でまとめられているので、良いと思います。
水野教育長	「育鵬社」、「日文」、「教出」では、巻頭で SDGs と公民の関連性について触れており、特に「育鵬社」は次ページに「なぜ公民を学ぶのか」について、概念図と文章でしっかりと説明をしている点に工夫を感じました。「教出」は資料等が大変わかりやすく、子どもたちが使いやすいように感じました。
齊藤委員	確かに、「教出」においては、表題や見出しに使われている言葉がわかりやすいと思いました。また、「日文」においても、巻頭に「公民を学ぶにあたって」というページを設けて、子どもたちの身近な分野や国際的な視点においても、公民という学習の必要性を丁寧に伝えようという意図を感じました。
田中委員	「帝国」の「アクティブ公民」はさまざまなテーマで、子どもたちが主体的に考え、友だちと交流する授業を想定し作成されていて面白いなと思いました。
齊藤委員	教科の特性として、情報量が非常に多くなり、キーワードとなる語句をしっかりと把握することが大事になると想定されます。その点、「自由社」は見開きページの中の重要語句の下に番号が設けられ、同ページに解説が掲載されているので、生徒の主体的な調べ学習へとつなげられると感じました。
田中委員	「教出」では、各章の最後に「学習のまとめと表現」が設けられ、問いに答えながら学習の理解度を振り返ることができる内容となっていて、授業でも家庭でも活用できると思いました。
齊藤委員	「東書」では、子どもが自分の考えを図式化できるようになることをめざし、子どもどうしの交流や対話へとつなげる意図を感じます。また、公民は日常の出来事とつなげて学習する教科なので、その点でも、「東書」は、特に、新聞の記事を多く取り入れることで子どもも身近に感じることができるように、工夫されています。
水野教育長	さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、「東書」と「教出」が優れているように感じますが、答申文にある選定委員や調査員のご意見を総合的に考えますと、やはり「東書」になりますでしょうか。
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、『東書』を採択いたします。次に地図に移ります。
伊東指導監	(答申文を読む)
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
太田委員	「東書」は光沢が抑えられ、目には優しい作りにはなっていますが、全体的な印象として、見やすいのは「帝国」だと思います。
田中委員	私も「帝国」が良いと思いました。見やすさで言えば、特に、171ページの統計の部分についても、見やすくなっています。
齊藤委員	地図帳というのは、他の教科書とは少し異なるもののような印象があります。「帝国」は、サイズは大きいですが、大きいほうが見やすく地図帳としては使いやすいように感じました。
水野教育長	「東書」は持ち運ぶものとしてはサイズが教科書と同じで、取り扱いやす

	いかかもしれませんが、「帝国」は地図帳としての機能に特化したものとなっていると思います。
太田委員	確かに、答申文にもあるように、「帝国」は、世界の各州は一般図や鳥瞰図、資料図という配列になっており、日本の地方は地方別地図、拡大図、資料図という配列で、それぞれの特色を具体的に細かい点まで読み取れる構成となっている点が、地図帳としての機能を最大限に組み込んでいると思います。
田中委員	子どもたちが主体的に学びに向かえるように「帝国」は、「地図活用」として課題提示をするコーナーがあるのも、良い点かと思います。
水野教育長	ありがとうございます。他にご意見はございますでしょうか。答申文を見ましても「帝国」の内容が充実しているようですね。皆さんからのご意見も踏まえて考えますと、本市としては『帝国』となるかと思いますが、いかがでしょうか。
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、『帝国』を採択いたします。次に数学に移ります。
伊東指導監	(答申文を読む)
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
田中委員	「教出」は、数学的な考え方をわかりやすく伝えているように思います。「もどって確認」「学びのマップ」では、振り返りながら学ぶことでつまずきに対応でき、具体的な説明のある「数学的な考え方」を取り上げることで、数学的な見方・考え方を育むことができると感じました。
齊藤委員	数学的な見方・考え方を育むという点では、「日文」では、最初、イラスト等が少ないかなと感じたのですが、１年生ではイラストが多く、学年が上がるにつれて減っていました。発達段階に応じたイラスト量にしているという工夫が窺えました。
田中委員	「啓林館」の「みんなで学ぼう」編と「自分から学ぼう」編に分かれる構成もよいと思います。練習問題や応用問題もバランスよく配置されており、子どもたちは、自分の課題や理解度に併せて主体的に取捨選択しながら、興味をもって取り組むことができると感じました。
水野教育長	興味を持って学ぶということに関連して、私は、子どもたちが嫌いにならない教科書とはどういうものかと考えました。「数研」では、数学的な面白さが感じられるような導入となるよう工夫されているなと思いました。子どもも自然に、スッと学びに入ることができるのではないのでしょうか。
太田委員	大事な視点ですね。「数研」でいいますと、どの子にとってもシンプルに数学的な学びが深まるよう配慮されているなと感じます。特に「探求ノート」では、教科横断的な視点も踏まえながら、「日常生活の中にある数学的な題材」を取り上げることで、子どもたちの日常と数学をつなぐ工夫が感じられます。学んだことを総合的に活用し、数学の有用性を感じながら学び、問題解決する力がつくよう工夫されていることを強く感じます。
齊藤委員	私も、「数研」は大変見やすいと感じました。例えば、計算式の説明のページでは、間に色のついた文字が入っていることで区切りがはっきりとします。必要最小限でも必要十分な情報にし、わかりやすく伝えようという配慮

水野教育長	が感じられました。ページ全体の構成がすっきりとした印象を受けました。 そうですね。見やすさで言うと「大日本」も、文章が詰め込まれておらずシンプルで、カラーもパステル調なのでどの子も大変見やすいのではないかと感じました。さらに、３年生の教科書においては、高等学校との接続をより丁寧を示しているところも優れていると思いました。
田中委員	接続という点で、「東書」では、小学校での「算数科」から中学校での「数学科」への接続が意識されていると感じます。また、「数学科の学び方」が身に付くよう工夫されており、特に導入部分での、かけ算の表から素数や正負の数の学習へつなげている工夫がいいですね。
齊藤委員	大東市が進めている「学び合う」授業づくりから考えると、裏表紙の裏がホワイトボード仕様になっている「学図」の工夫もいいと思いました。自分の考えを発言するだけでなく、考えをまとめたり、ペア・グループで意見を交流したりする活動の際に、大いに活用できると思いました。
太田委員	どの教科書も、巻末に立体模型などの付録がついていますが、「東書」や「日文」では、それがより活用しやすく充実しているように感じられます。立体などをイメージするのが苦手な子どもの思考はもちろん、どの子にとっても考えが広がり、役立つと思います。
水野教育長	さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、それぞれに優れてはいるものの、より「数研」が優れているように感じます。答申文あるいは選定委員や調査員のご意見も含めて総合的に考えますと、やはり本市としては「数研」となるかと思いますが、いかがでしょうか。
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、「数研」を採択いたします。次に理科に移ります。
伊東指導監	（答申文を読む）
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
太田委員	どの教科書も子どもが興味関心を広げ、見通しをもって問題解決する能力が育まれるような構成に工夫が見られると思います。「大日本」においては、全体的にどの文字も大きく表記されており、見やすいページ作りにこだわっているように感じました。
齊藤委員	答申文にもありますように、「教出」では、重要単語が色付きの太文字になっており、見やすく、多くの漢字にふりがなが打たれており、さまざまな生徒の状況に対応できるようにという配慮を感じました。
水野教育長	全体的に最初に学習の流れや、学び方などを示すことで理科の特性を再確認していることがよく分かります。その中でも「学図」は、巻頭の折り込みで「なぜ理科をまなぶのか？」という具体的な実践を取り上げて説明している点が丁寧だと感じました。
田中委員	「東書」は、インパクトのある表紙で、子どもたちに科学的な印象を与えているように感じました。また、全体的にも興味をひく写真が多いように感じました。各単元の導入では、前面の写真や「Before & After」でその章に関する問いかけがあり、工夫を感じました。
太田委員	理科学習では実験がありますが、まずは安全に実施できることが大前提となります。その点において、「大日本」、「教出」は、実験の際の注意点が分

	かりやすく明記されていて、教員も指導しやすいと思います。生徒も復習や調べ学習をする際にも活用しやすくなっていると思いました。
水野教育長	実験のことで言いますと、「啓林館」では、実習・実験に沿って書き込める付録の「探究シート」があり、自分の考察を基に探求型学習を進められる工夫があります。
齊藤委員	本市の「学び合う」授業づくりにおいて、個人持ちのホワイトボードを活用することが多い実態があります。「学図」の教科書の最後にもアイデアボードがついており、子ども同士をつなぐ意図を感じます。また、掲載されている写真や資料についても、実寸大に近づけようとしている点に工夫を感じました。
太田委員	私も、「学図」については、「学び合う」授業づくりの視点で作成されていて良いと思いました。特に、章のはじめの Can-Do List では、新学習指導要領の３観点を押さえ、子どもに学習の目的をはっきりと伝えている点が良いと思います。
田中委員	「東書」は、サイズが大きく机に広げやすいと感じました。また、付録にある「世界の活火山分布」は斬新で、子どもの興味関心を引き立てるアイデアだと感じました。
水野教育長	さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、「学図」と「東書」が優れているように感じますが、答申文ある選定委員や調査員のご意見を総合的に考えますと、どうでしょう、やはり「学図」になりますでしょうか、 本市としては「学図」となるかと思いますが、いかがでしょうか。
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、「学図」を採択いたします。次に音楽に移ります。
伊東指導監	(答申文を読む)
水野教育長	それでは、協議に入ります。一般と器楽は同じ発行者のものを採択しますので、併せてご意見をお願いします。
太田委員	「教出」は見開きの左ページの端に、学習目標が示され、また、関連するページの記載があるなど、学習を進めやすい工夫がされていると思います。
田中委員	「教芸」一般の２・３年上の教科書６４ページの文楽の学習で、「新版歌祭文」から“野崎村の段”が取り上げられ、お染と久松の話が紹介されています。地域が取り上げられているという点では、とても親しみが持てるのではと感じました。
水野教育長	なるほど、教科書という全国で使われるものに、地元の物語が紹介されている点では、ぜひ、子どもたちにそれだけ有名な物語があるのだということを知ってもらいたいと思います。
齊藤委員	他にも、「教芸」一般に関しては、歌唱で取り扱っている曲数がとても多く、また、器楽についても、小学校で慣れ親しんだ曲を取り扱っている点は大事な視点だと感じました。生徒が興味や関心をもって音楽に親しめるように工夫されているように思いました。
太田委員	確かに、「教芸」は色づかいが大変良く、器楽については特に段階を追って演奏できるような構成にもなっており工夫が見られると思います。

齊藤委員	「教出」器楽では、少し難しい楽曲もあるようですが、絵や写真でわかりやすいように構成されており、ギターコードはとても見やすくなっています。
田中委員	私は、「教芸」器楽について言えば、関連した楽器の紹介などがとても充実しており、学びを広げる工夫がされているように思いました。
水野教育長	他にご意見はございますでしょうか。答申文を読みましても、「教芸」の内容がかなり充実しているように読み取れます。また、皆さんからのご意見を踏まえ総合的に考えますと、「教芸」が優れているように感じますが、どうでしょう、
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、『教芸』を採択いたします。次に美術に移ります。
伊東指導監	(答申文を読む)
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
太田委員	どの教科書もそれぞれ工夫がなされ優れた内容だと思いました。中でも答申文や各出版社見本本を比較しますと「光村」が良いと思います。特に「光村」は子どもの作品が多く掲載されており、その制作の過程や製作者の言葉が記載されている点や、発想や構想のためのマッピングなどの「手立て」も丁寧に示されている点が非常によいと思いました。
田中委員	私も、「光村」については、まず「美術って何だろう」というページで、小学校の図画工作科とのつながりが明記されているのがよいと感じました。また作品の素材がよく、一つひとつが見ていて面白いと感じます。特に、2・3年生の教材「最後の晚餐」では、「消失点」について学ぶことができるようにトレーシングペーパーがついていて、興味をそそられると感じました。
水野教育長	私は、美術という教科は、より教科横断的に学ぶことができると思うのですが、その点において、「開隆堂」は他教科とのつながりを踏まえた内容構成となっているなと感じています。さらに、ページの横にどの教科との関連があるのかが示されている点も、わかりやすくよいと思いました。
齊藤委員	QRコードを活用することで、教科書にのっている作品以外を見ることができますが、「開隆堂」で美術館の写真を見ると、まるで直接見学に行っているかのような臨場感があるのがいいなと思いました。
水野教育長	「日文」は3冊に分かれていますね。多岐に渡る内容で十分な情報があるのがよいと思います。また表紙裏のページでは、「となりのトトロ」の背景画が大きく掲載されていることで子どもの興味をつかみつつ、アニメーションの背景画の仕組みや制作過程を示すという流れがいいですね。
太田委員	あと「光村」で特筆すべきなのは、絵巻物や版画の作品が掲載されているページの紙質が他のページと違う点です。先ほど、トレーシングペーパーのことも出ていましたが、紙質から感じられる作品の風合いも含め、手触りからも作品が味わえるよう工夫されている点も、教科の特性を存分に生かしているなと感じました。
齊藤委員	「光村」はタイトルが大きく表示されており、語り掛けるように表現されているのもいいですね。「表現」の分野と「鑑賞」の分野が相互に関連し、

	内容がリンクしていることで、先生方が工夫して授業を組み立てやすいのではないかと感じました。
水野教育長	さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、どうでしょう、本市としては「光村」となるかと思いますが、いかがでしょうか。
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、「光村」を採択いたします。次に保健体育に移ります。
伊東指導監	(答申文を読む)
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
太田委員	「東書」の「活用する」における問いは、一人ひとりが考える内容が明記されており、個人で考えたことをグループで交流する際につながりやすい構成だと思います。1時間の流れがわかりやすく示されている点もよいと思いました。また、資料等も含めて色遣いが柔らかく、視覚的にも優しい教科書だと感じました。
田中委員	同じく「東書」について、私は、各学年の内容が保健編からはじまっているところに他社とは違う意図が感じられ、よいと思いました。
齊藤委員	私は、「大修館」について、最初の取組みが「自己形成」なのに、「となりの人の良いところを5つあげてみよう」から始まっているところがあり。相手意識をもたせるという視点を大切にしていると感じ、優れていると感じました。
水野教育長	現代の子どもたちが特に抱えているストレスについて、「大日本」では、その対処法が具体的に多面的に記載されているところがよいと感じました。ストレス発散方法として「笑いの健康効果」について触れられているところも良いと思いました。一方「東書」では、ストレスの対処法について好ましい例と好ましくない例を挙げるとともに、場面を設定し、「自分ならどうするか」という視点でロールプレイしながら考えることができるという構成がよいと感じました。
太田委員	「大日本」の「学びを生かそう」のページでは、学んだことをもとにアドバイスするとしたらという設定で、生徒が自由に記述できる構成となっており、友だちと考えを交流させながら学びを深めることができる点はよいと感じました。
齊藤委員	「学研」は、性的マイノリティについてより多く記載されており、人権の取扱いが大切にされていると感じました。なんとなく聞くキーワードだと思いますが、教科書で丁寧に扱われているところがよいと感じました。
水野教育長	さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、「東書」が優れているように感じますが、選定委員や調査員のご意見も含めて総合的に考えますと、やはり「東書」になりますでしょうか、どうでしょう、
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、「東書」を採択いたします。次に技術家庭の技術分野に移ります。
伊東指導監	(答申文を読む)
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
田中委員	どの教科書も、教科の特性上、情報量が多く、内容也多岐にわたっている

	ように感じました。その中で、見やすさというのは重要になってくると思いますが、その意味では「開隆堂」が最も見やすいように感じました。
太田委員	私も「開隆堂」が良いと思います。情報量が多いわりには、すっきりとしており、文字量と写真やグラフのバランスも空されています。また、各分野のバランスも大変よく考えられ、全体の分量的にもちょうど良いと思います。
齊藤委員	私も「開隆堂」がよいと思いました。写真や技術の歴史のページの年代がとても見やすかったり、また、他教科や小学校とのつながりがマークでわかりやすく示されていたり、工夫がされているなぁと感じました。
水野教育長	「教図」は先輩からのメッセージや技術者からのメッセージなど、未来を切り開く姿勢を大切にしているように感じました。
太田委員	「東書」は巻末に「防災・減災手帳」がついており、防災教育に活用できるようになっています。最近では、災害などが起こることが多くなっていますので、このあたりの教育の充実のためにも、良い工夫だと思います。
田中委員	「開隆堂」についてのさらに良い点は、「豆知識」や「参考」として、プラスアルファの学習ができる点です。発展的な学びに進むこともでき、子どもたちが主体的に学ぶ姿勢にもつながるものと思います。
水野教育長	ありがとうございます。皆さんからのご意見から判断しますと、「開隆堂」が優れているということになりますでしょうか。いかがでしょうか。
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、「開隆堂」を採択いたします。次に技術家庭の家庭分野に移ります。
伊東指導監	(答申文を読む)
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
田中委員	どの教科書も、教科の特性上、情報量が多く、写真で示す内容が多く、それぞれの発行社とも見やすさには工夫が見られました。「教図」は表やイラストが大きく示されていましたし、「東書」はミシンの説明がわかりやすく、「開隆堂」は写真やグラフが大きく、全体的にすっきりと示されています。
齊藤委員	「開隆堂」は内容的にも、「自ら〇〇を見て」など、自分の視点から学習がスタートしているような扱い方がとてもよいと思いました。また、大人になってから役立つ内容がたくさん取り扱われているように感じました。
太田委員	技術分野でも話題に出ていましたが、「開隆堂」の豆知識は、いろいろな分野のコンテンツがあり、子どもたちにとって、とても興味深いものだと思いました。
水野教育長	確かに、「開隆堂」の豆知識は、内容はもちろんですが、表現についてもとてもわかりやすくなっており、どんどん読み進めたいようになっていきます。「教図」の20ページにある「考えてみよう」のコーナーの「コミュニケーション技術を磨こう・高めよう」はとても興味深いものでした。家族・家庭や地域とのかかわりの章で取り扱われていますが、とても大切な視点で工夫されていると思いました。
齊藤委員	「開隆堂」の調理実習の取扱いがかなり多く感じましたが、学校の状況に

	応じて取り扱える選択肢が多くあると考えますと、とてもよいと思いました。
太田委員	私も、「開隆堂」は答申文にもありますように、「中学生に必要な栄養を満たす食事」に関するページ数が多く、写真や図も充実しており、食事の重要性が伝わってくる内容となっているので、食育の意味でもとてもよいと思いました。
水野教育長	ありがとうございました。一通りのご意見をいただきましたが、各委員のご意見から「開隆堂」が良いというご意見が多かったのではと思いますが、いかがでしょうか。
	【各委員 異議なし】
水野教育長	それでは、「開隆堂」を採択いたします。次に英語に移ります。
伊東指導監	（答申文を読む）
水野教育長	それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。
田中委員	小学校との接続を考えると、「東書」が小学校の内容を取り入れつつ、段階を追って扱う分量を増やしている点では使いやすいのではと思いました。また、「三省堂」は、字体も含めて、全体的に、生徒にとって見やすい印象を受けました。学びを進めるうえで、とても大事な視点かと思います。
水野教育長	小学校との接続について考えますと、田中委員のおっしゃる通り、「東書」はいいかもしれませんね。高等学校への接続も意識されており、少し内容的には難しいようにも感じますが…。見た目については、「三省堂」は余白が多く、全体的にすっきりとしていると思います。紙面デザインやフォント、挿絵や写真等についても見やすく工夫されており、優れていると感じました。
齊藤委員	どの教科書もそれぞれ工夫され優れた内容だと思いました。確かに、「三省堂」はすっきりとした印象があります。本文の長さも適量で、生徒の負担にも配慮されていると思いました。また、「啓林館」は目次で新出文法事項を示し、学習目標が明確になっていますので、ゴールをめざして取り組みやすいと思いました。
水野教育長	取り組みやすいという点では、「教出」についても、マスキングシートがついており、自主学習がしやすくなっていると思います。
田中委員	全ての教科書で人権の取扱いについても配慮されていると感じましたが、特に、「開隆堂」と「光村」は、特に、広く世界をカバーし、様々な立場の人々についての内容が含まれていると感じました。
太田委員	段階を追って学びを進めていける点では、「光村」でしょうか。3学年のストーリーの題材について、1年では身近な話題を取り上げ、2年では視野を広げ、3年では社会の様々な問題について考えを深められるように配置されており、段階を追って学びを進めていけるような工夫が感じられました。実践的な視点で見えますと、「三省堂」は、答申文にもございますように、きくことの分量が多く、より実践的なコミュニケーションを意識したつくりとなっており、大変優れているように思いました。
水野教育長	ありがとうございます。それぞれの教科書に優れた点がありますが、「三省堂」が優れているというご意見が多いようですが、答申文の内容や選定委

員、調査員のご意見も含めて総合的に考えますと、「三省堂」になりますでしょうか、いかがでしょうか。

【各委員 異議なし】

水野教育長
伊東指導監
水野教育長
太田委員

それでは、「三省堂」を採択いたします。次に道德に移ります。

(答申文を読む)

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

どの出版社も振り返る視点があっていいのですが、「廣あかつき」では、別冊の「中学生の道德ノート」がシンプルに記録だけを書くようになっていきます。教科の特性から考えますと、シンプルであることで自由度が高く、個々の学びを先入観なく可視化でき、自己評価につながる点がよりすぐれているのではないかと感じました。

田中委員

答申文にもありますように、「東書」は、「自己評価用紙」や教材で活用できる「心情円」が、付録として巻末にあるのがいいですね。教材数が28というのも多すぎず、ちょうどよいと思います。

齊藤委員

付録でいいますと、「光村」では、記録のフォーマットの参考例があるのがいいと思いました。同じ形で記録を重ねていくことで、成長の軌跡が可視化され、自分自身で実感できると思いました。「日科」における振り返りでは、文章ではなく「心の成長を振り返りましょう」とチェックシートのように4段階で振り返る工夫があり、これもよいと感じました。

田中委員

「学研」では、巻頭に「マイプロフィール」、巻末に「心の四季」(1年生)が設けられており、学期ごとの振り返りができる「学びの記録」と併せて、年間を通して学びを振り返ることができる点がよいと思います。道德の学びの提案をする「深めよう」も、メモとして記入しながら考えることができるところがよいと思います。

水野教育長

「教出」では、教材の冒頭に「問いかけ」が示され、巻末には「道德の学びを振り返ろう」という振り返りシートがあることで、生徒が全体的な学びを振り返ることができるとともに、教員にとっても評価に生かすことができる点がよいと感じました。

田中委員

「東書」では、漫画や新聞を使用した導入や、問題解決的な学習と体験的な学習を取り入れた「アクション」など、各学年において多様な学習が展開できるように工夫されていると感じました。

太田委員

学習する4つの視点やキーワード等の記載が教材の冒頭にないというのも、「廣あかつき」の工夫だと思います。これは、「日科」も同じでした。子どもたちが先入観を持たず、自分で学習の見通しを立てることができるよう配慮することは、教科的にもとても大切な視点だと思います。

齊藤委員

「日文」は、特に重要なテーマにおいて、複数の教材やコラムをユニット化している点がよいと思いました。多面的・多角的そして教科横断的に学習できるよう配慮されていると思います。

水野教育長

さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、「東書」と「廣あかつき」が優れているように感じますが、いかがでしょうか。

答申文、選定資料等も踏まえまして、ここで採決をとらせていただきます。よろしいでしょうか。

水野教育長

【各委員 異議なし】

「東書」が良いと思う委員はいらっしゃいますか。

【田中委員 挙手】

「廣あかつき」が良いと思う委員はいらっしゃいますか。

【水野教育長、太田委員、齊藤委員 挙手】

「廣あかつき」が3名ということになりましたので、「廣あかつき」でよろしいでしょうか。

【各委員 異議なし】

水野教育長

それでは、『廣あかつき』を採択いたします。

以上で、教科用図書にかかります採択議案は終了いたしました。退席される傍聴人はご退席ください。

【一時休憩】

水野教育長

それでは、再開致します。日程第2 教委議案第27号、大東市教育大綱にかかる実施計画の策定について、提案理由の説明をお願いいたします。

杉谷課長

教委議案第27号 大東市教育大綱にかかる令和2年度版実施計画につきまして、提案理由のご説明をさせていただきます。

本実施計画につきましては、大綱中、第5の「重点大綱達成のための主な取組」において、3つの重点大綱に基づきその具体的施策となる「実施計画」を年度ごとに策定し、計画的な施策の取組を推進するための実施計画とするため、本計画案の策定についてご議決を求めるものでございます。

令和2年度版の実施計画を策定するにあたっては、前回の教育委員定例会におきましてお話しさせていただきましたとおり、令和2年3月の定例会におきまして、「令和元年度取り組み状況」をご報告させていただきました。

今年度教育大綱の改訂年度であり、今年度の実施計画について、重複して行うこととなりますが、現教育大綱の重点と項目は基本、同様に、前年度実施したPDCAやこのたびのコロナ渦において反映しなければならないこと等を出来るだけ反映するよう意図し、策定をしております。

それでは、主だった変更点についてご説明いたします。

では、実施計画案の1ページをお開きください。「重点1 学力の向上」についてでございます。

主に、今回改訂を行ったところの中でも、昨年度と状況が異なっているところ、また新型コロナウイルス感染症による影響のあったもの等を中心にご説明いたします。

項目1「学力向上の強化と学習習慣の定着」でございます。「主な取組・方向性」ですが、学校・教職員が授業力向上を柱に、主体的に学力向上に向けた取り組みを計画し、授業力向上学校支援チームによる訪問指導等により、「だいとう教育ビジョン2019」に基づいた、「型から質へ」の授業改善を行う。また、「大東教育スキルアップ講座」においても授業力向上を柱に、「出張スキルアップ講座」も活用し、学力向上担当者を軸に、あらゆる経験層の教員に対して、より実践的な支援を行います。各校では、「付けたい力を見取る」テストを通して「学校活性化計画における「付けたい力」における達成状況を把握する。また、日々の授業改善で「付けたい力」を意識

した授業改善を行うべく、「だいとう教育ビジョン2019」の活用を促します。

次、項目2「魅力あふれる教職員による授業改善・授業づくり」でございます。主な取組・方向性につきましては、「だいとう教育ビジョン 2019」に係るアンケート等による検証を実施し、より一層の活用を促してまいります。学力について、基礎的学力・応用的学力の両面が同時に伸びるよう、丁寧な教材研究を行い、「大東クオリティ」及び「具体的なチェックリスト」等に基づく授業改善を行います。

項目3「家庭の教育力の向上と子どもの生活習慣の改善」についてです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「家庭教育支援チーム」による小学1年生全家庭訪問を中止し、配布物を家庭に投函致しました。保護者が気軽に集うことができる「いくカフェ」は、インターネットやパソコン通信上で行う「オンラインいくカフェ」を開催します。コロナ禍であっても新たに手法を用いて「大東モデル」の家庭教育支援の充実を図ってまいります。

そのすぐ下の段ですが、今回は「家庭学習の手立てについて整理し、好事例を普及していく。」とありましたが、「親学習の推進に向けた取り組みを進める。」とさせていただきます。

項目4「体力・運動能力の向上」についてです。前年度の取組みを踏まえ「体力づくり推進計画（アクションプラン）」を見直し、学校ごと目標を明確化します。調査において、複数学年での取組みや市体育研究会とも連携し、正しい調査方法を広く共有し、徹底してまいります。

項目5「がんばりが評価される学校環境づくり」です。あらゆる研修において、絶えず「だいとう教育ビジョン2019」の項目を意識し、各教員が自身の授業実践を絶えず振り返り、一層の高め合える環境改善を行ってまいります。

項目6「小学校からの英語教育の推進と中学校英語教育の充実」についてです。新学習指導要領全面実施により、小学校3・4年では外国語活動、小学5・6年では外国語科となり、小学校段階から英語に触れることとなります。全小学校全学年で「DREAM」を活用する。併せて小学3年～中学3年までの7年間を見通した「CAN-DOリスト」を作成・活用する。活用の好事例については、年間通じて収集に努め、市全体として発信してまいります。

項目7「フォーラムの開催等による教育研究の充実」です。新型コロナウイルス感染症に係る対応のため、一堂に会しての交流の場としては実施困難であるが、次年度に向けて、市の全教職員が一つのテーマで教育の課題について考えてまいります。

次に「重点2 安心・安全な教育環境の推進」についてでございます。

項目1「いじめ・不登校の未然防止、早期かつ適切な対応」です。あらゆる機会を使って、いじめの定義・捉え方を全教員が確認する。教員は絶えずアンテナを高く広くもち、児童・生徒が相談しやすい信頼関係づくりに努めます。対応には、必ず複数で行い組織として対応してまいります。

項目2「セーフティネット機関の充実」についてです。セーフティネット

機関としてのボイスについては、なお一層の周知はもとより、コンセプトを明確にすることで、広く通うことができる機関とします。

項目3「児童・生徒指導の推進」についてです。いじめ対応担当教員連絡会、全校で情報モラル学習教室の開催、学校あんしん生活アンケートの実施により、諸問題への未然防止・早期発見に取り組んでまいります。また、子ども一人ひとりが相談しやすい学校環境づくりを行ってまいります。

項目4「中学校区単位での道德教育の推進」です。市教育委員会主催で、授業や評価の在り方をテーマにした「道德教育推進担当者研修会」を実施するとともに、各校区研究実践やとりわけ評価については好事例を収集し、全校へ発信してまいります。

項目5「学校施設・設備の整備」です。学校施設の安全点検により、改修が必要と考えられる箇所について、落下防止や段差解消工事を優先的に実施し、児童生徒の安全安心な教育環境を確保します。また、事故等の発生を未然に防ぐため、継続的な安全点検を実施してまいります。また「避難所としての体育館の空調機の整備を行う。」を新規に追記しています。

項目6「通学路の整備」については同じでございます。

項目7「給食を柱とした食育の推進」でございます。新規事項としまして、アフターコロナに向けて、給食室の改修工事及び給食実施方式（自校方式や親子方式等）のあり方の検討を進めてまいります。

項目8「放課後の居場所づくり」ということで2点ございます。各施設の特性を活かした事業実施による居場所づくりを推進してまいります。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、事業内容を精査し、中止又は縮小の判断を行います。放課後児童クラブに関しては、就労支援の観点から休止は行なわない、とさせていただいております。

「重点3 開かれた魅力ある学校づくり」として6項目ございます。

項目1「小中一貫教育による学校教育の大東ブランドづくり」についてです。3年間の小中一貫教育モデル校区事業で得られた効果と課題を検証し、全中学校区において段階的に、これまでの小中連携教育から小中一貫教育への取組みを進めてまいります。状況としましては、4、5月は臨時休校措置のため、小中一貫教育の取組みを進めることができませんでした。6月から学校再開となったため計画の立て直しを行い、8月から取組みをスタートする予定でございます。

項目2「少人数学級の推進」については表記のとおりです。

項目3「地域に開かれ信頼される学校づくり」につきましては、地域教育協議会をはじめとした、地域と学校が協働による取組みを促進することで、学校が核となって地域で子どもたちを育てていくという意識を醸成し、地域とともにある学校づくりをさらに推進してまいります。コロナ感染症感染拡大防止のため、交流会は実施できませんでした。

項目4「学校情報の発信」については表記のとおりです。

項目5「地域人材の有効活用」につきましては、学校支援事業による地域人材の活用や部活動指導員の採用を行います。また、子どもの安全見守り隊への感謝集会の開催等、地域の方と触れる機会を各校園で設けてまいりま

す。

項目6「多様な体験活動の推進と世代間交流の促進」についてです。新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、学校園が利活用しやすい「野外活動センター」となるよう創意工夫し、情報発信を行い、異年齢・世代間交流が体験できる事業の実施に取り組んでまいります。

以上が教育大綱に係る令和2年度実施計画の内容でございます。よろしくご審議のうえご議決賜りますようお願い申し上げます。

水野教育長

それでは、この案件に関しまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

田中委員

重点1 項目2の「魅力あふれる教職員」について、教職員の魅力は何を指しておられますか。主な取組・方向性については「授業改善等」が書かれていますが、現状・課題には「魅力あふれる教員」とあり、授業力なのか、教員なのか、授業力が向上すれば魅力あふれる教員になっていくのか、あいまいになっています。

奥村課長

ご指摘のとおりです。授業力が優れているということが何よりですが、子どもとつながっているということが、魅力ある教員の姿であると考えます。

水野教育長

それがいわゆる大東市の魅力あふれる教員の定義ということでよろしいでしょうか。

奥村課長

はい。

田中委員

新しく入ってこられた先生に、具体的に、詳しく分かりやすく、こういった先生がよいというポイントがあればよいのかな、と思いました。授業だけで生徒とつながれるわけではないですし、どういう先生像なのか。その後に子ども像も出ていて、どんな子ども像を意図しているのかがあれば、今後、どんな先生がいい先生像なのかがあればいいなと思います。

水野教育長

他にありますか。

田中委員

もう1点ですが、今年は教育フォーラムができないとのことですが、みんなが一堂に集まれないということであれば、オンラインの活用ができないかと思います。Zoomなどを活用して、フォーラムに近いものをするというのは、検討されましたか。

奥村課長

現状では、設備的に難しいので、今後の課題かと思います。今年度については、一堂に会するのは難しいということで、別の方法がないか探しているところですが、現状、ネットワークを使う場合、個人のスマートフォンでしか対応できないことなどから実施が難しいところです。

齊藤委員

いくカフェがオンラインで、と記載されていますが、具体的にはどういう感じになりますか。

佐々木総括次長

家庭教育支援事業については、アウトリーチとかサロンとかいう形で開催しておりましたが、今、コロナ禍で人を集めるということも困難な状況にあります。いくカフェにつきましては、少人数で保護者同士が集うということでありますので、Zoomを活用させていただき、少人数での実施になりますので、大東市の限られた機材の中で対応致します。明日、第1回目のオンライン会を開催する予定ですが、20名募集をかけ、16名の保護者の方が参加申し込みをいただいています。今後、各小学校区でそれぞれのテーマに

齊藤委員
佐々木総括次長

ついて、保護者の方が気軽に参加いただける様なものを、毎月1回開催して
いきたいと考えております。

明日、行われるのは市全域ですか。

はい。明日開催のものは市全域とさせていただきました。今回、各小学校
で協力いただき、ちらしの配布や小学校のホームページに掲載いただき、市
全域で募集をかけました。

水野教育長

他にございませんか。

無いようですので、この案件につきまして、賛成の委員の挙手を求めま
す。

【挙手全員】

水野教育長

それでは、この案件に関しまして承認といたします。

・・・・・・日程第4 一般業務報告につき要点のみを記載・・・・・・

①令和2年大東市議会6月定例会月議会 一般質問及び代表質問の要旨につい
て

⇒6月定例会月議会における代表質問および一般質問要旨についての概要報
告。教育関連の質問は、代表質問について、5議員から7項目。一般質問
について、12議員から19項目。

②大東市立小学校運動場等開放事業実施要綱について

⇒小学校の運動場及びプールの利用実施日について、日曜日・祝日・長期休
業日に、土曜日を追加する旨を報告。

③北条幼稚園及び北条保育所の施設統合について

⇒施設統合による認定こども園化の検討について、幼保一体化ワーキングチ
ームでの進捗状況について子ども室より報告。

④公立幼稚園における長期休業期間中の預かり保育の実施について

⇒現在、教育時間終了後のみ実施している預かり保育を、所定の条例改正を
行い、新たに長期休業期間中に実施する旨、子ども室より報告。

以上をもちまして、7月の教育委員会定例会を終了いたします。

以上

令和2年9月25日

水野教育長

齊藤委員